

「らくなん進都(高度集積地区)まちづくり推進プログラム」の策定について ～「新しい京都を発信するものづくり拠点」を目指して～

京都市では、南部創造のまちづくりの先導地区である「らくなん進都(高度集積地区)」(※1)のまちづくりをより一層加速させるため、平成19年7月、学識経験者や地元住民、地元企業の代表等からなる「高度集積地区まちづくり推進プログラム(仮称)検討委員会(※2)」を設置し、新たなまちづくり推進プログラムの策定に向けた検討を進めてきました。

この度、市民意見募集を経て、市民の皆様の御意見を反映した「らくなん進都(高度集積地区)まちづくり推進プログラム」を策定しましたので、お知らせします。

今後、「らくなん進都」がその名のとおり、輝かしい未来へとまい進する活力あふれるまちとなるよう、本プログラムに基づく取組を、地域、企業、大学、関係機関等の皆様と一層連携し、共に汗する「共汗」によって進めて参ります。

記

1 名称

「らくなん進都(高度集積地区)まちづくり推進プログラム」

2 「らくなん進都(高度集積地区)まちづくり推進プログラム」の概要

市南部地域には、世界をリードする、元気な最先端のものづくり企業が数多く立地し、21世紀の新しい京都の活力を支える地域として、ますます重要性が高まっています。

本プログラムでは、その南部創造のまちづくりの先導地区である「らくなん進都」における取組をより一層加速させるため、地区の将来像や、その実現に向けた66の施策・取組及び平成24年度までに達成すべき成果目標を掲げています。「新しい京都を発信するものづくり拠点」を目指し、企業集積のための取組に加え、緑化の促進や水辺空間の再生による地区アメニティの向上や公共交通の充実など、地区の魅力を高める取組にも重点を置いています。

〈らくなん進都の将来像〉

- 市民の足となる公共交通に支えられて、最先端のものづくり企業の本社・研究開発・生産機能が集積するまち
- 文化の発信地としての京都にふさわしい優れたデザインの高層と中低層の建築物が互いに調和する都市景観のまち
- 水と緑を大切にす環境共生型のまち

3 冊子の配布等

都市づくり推進課のホームページにおいて、5月26日（火）からプログラムの全文を掲載します。

また、併せて、去る2月から3月にかけて実施した市民意見募集の結果についても掲載します。

＜都市計画局都市づくり推進課のホームページアドレス＞

http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/soshiki/9-1-2-0-0_5.html

冊子については、6月1日（月）から、市役所案内所、各区役所・支所等で配布する予定です。

（参 考）

※1 らくなん進都（高度集積地区）

京都市南部を南北に貫く幹線道路である油小路通沿道を中心とした、概ね北は十条通、南は宇治川、東は東高瀬川、西は国道1号に囲まれた、面積約607haの地区

らくなん進都は地区の愛称

（意味：南部地域の新拠点であることや、未来に進む都のイメージを表す。）

※2 「高度集積地区まちづくり推進プログラム（仮称）検討委員会」委員

（◎は座長，○は副座長）（五十音順，敬称略，役職は就任時）

- | | | |
|-----|-------|----------------------------------|
| 荒川 | 朱美 | （京都造形芸術大学環境デザイン学科教授 景観デザイン） |
| 板倉 | 正和 | （関西電力株式会社地域開発部長） |
| 伊藤 | 謙介 | （京都南部における企業懇話会顧問（京セラ株式会社取締役相談役）） |
| 太田 | 譲二 | （京都南部における企業懇話会顧問（黄桜株式会社代表取締役会長）） |
| ◎岡崎 | 甚幸 | （武庫川女子大学生生活環境学部建築学科教授 建築設計） |
| 北富 | 洋二 | （京都商工会議所産業振興部長） |
| 辻尾 | 敏明 | （佐川急便株式会社代表取締役専務） |
| 辻田 | 素子 | （龍谷大学経済学部准教授 経済政策） |
| ○中川 | 大 | （京都大学大学院工学研究科教授 交通計画） |
| | 中西たえ子 | （株式会社鼓月取締役会長） |
| | 永山恵一郎 | （伏見観光協会専務理事） |
| | 村瀬 克子 | （伏見区下鳥羽自治連合会 会長） |
| | 森岡 梅次 | （南区上鳥羽自治連合会 会長） |
| | 吉岡 亨 | （大阪ガス株式会社近畿圏部長） |
| | 森井 保光 | （京都市産業観光局長） |
| | 田辺 真人 | （京都市都市計画局長） |
| | 岡山佳代子 | （京都市南区長） |
| | 北島 誠一 | （京都市伏見区長） |

計18名